

# 大野☆市報

## こたまする開發のひびき

市制四年目を迎えて大野市は、いま市制發展史上に最も意義ある一頁を記す年となります。それは二十数年来の宿願であつた越美北線の早期開通に明かるい見通しのついたことと、さらに六十四億円という巨額を費し今春着工した電源開發とであります。

### すすむ 越美北線・電源 開發 工事

越美北線の開通こそは表日「横断の大動脈であり、福井県本と裏日本とを結ぶ中部日本」の大宝库といわれる山林資源

や地下の宝庫などの開發、輸送に重要な役割を果すこととなります。

県営発電所の完成を間近にひかえ今また打波、富田、壁倉の三発電所の開設によつて最大出力十二万キロワットの電力生産が期待されています。こうした電力源は直接生産に役立つことはもちろんですが、さらに固定資産税や交付

金および納付金となつて確實にをうるおすこととなるのであな市の財源として永久に市政にります。

### 計画実績は 65パーセント

#### さらに自主財政再建計画で

市制いらい建設五カ年計画を一路まい進し、その実績は六五パーセントという好成绩を挙げ、他の合併新市に類を見ないほどの成果を収めています。これは市民の皆さんの協力と団結の現れであります。市の発展と充実に主力を注いで

います。しかしこのうちにも健全財政を堅持するために自主財政再建計画をたて、四年後には赤字の解消が見込まれています。こうして日一日と市民福祉の増進、市民文化の向上、さらに市民所得の増加にたゆみなく市政運営に進んでいます。いま市制四年目の記念すべき日を迎え、市の歩みのあしあとをカメラと数字によつて眺めてみましょう。(二、三面参照)



### 市政4重点 施策とは

- その一 良い学校教育ができるために
  - △老朽校舎の改築
  - △狭い校舎の拡張
  - △学校施設の充実
  - △完全給食の実施
- その二 あたらしいまちを作るために
  - △店舗改装資金の貸付
  - △中小企業者に融資預託金制度
  - △協同組合施設の補助
  - △公園、緑地、防火水路の建設など都市計画のすい進の積極化
- その三 楽しい田園が生まれるために
  - △農林道の新設改良事業
  - △土地の乾田化、かんがい排水の工事
  - △農業実験室の建設
  - △畜産の振興奨励、植林の奨励
- その四 市の総合發展がなされるために
  - △道を広げ良い道を作つて村からまちへまちからむらへ早く行けるようにする
  - △古い橋を永久橋にかけかえる
  - △河川の改修工事

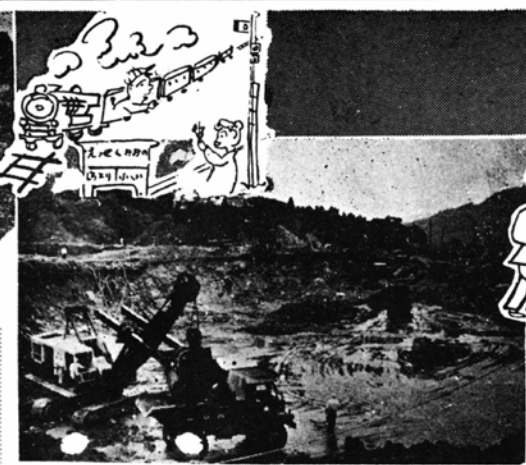
【写真説明】①新農村建設事業でできた農道(川島地籍) ②市道友中線(猪島地籍) ③下庄小学校の前景 ④銀座通りの夜景

# おおの 見てある記



市制四年を記念するめでたい日を迎えて、全市民の喜びもまた一しおであります。いまここに太郎と花子の「おおの見てある記」を編

集し全市民のみなさんにすばらしい発展を続ける姿をありのままに見ていただき、今後仲腰を進める「しおり」としましよう



太郎 ここが汽車の通る線路です。あちが富田発電所のできる所です。

花子 ここにこんな大きな道ができたのですネ。

太郎 もとは狭い道で自動車を通るのがヤツトだったのですが……

花子 こんな広い道にすにはずいぶんお金がかかったでしょう。

太郎 市政の四重点施策の一つに道路の新設や改修が上げられていますから。大野市の市道は五百二十八線もあつて、この延長は三十五万一千九百五十

## すばらしい発展だネ！

### 太郎と花子の市政漫遊

太郎 成したものだ。足手まといになる幼い子供をあずかかって親が安心して仕事ができるようになってはいます。

花子 ことしまつ建つそうす。

太郎 こんな美しい、住宅ならはい、わね。

太郎 市営住宅です。市営住宅は全部で二百戸で、いままた二十戸建築の予定のようです。プロダック建築が向うの方にあります。素敵ですネ。

花子 Kさんの所に部落電話がきたんで、急用ときなすく電話で話かけてとても便利だつ

### 三カ年間に九億九千万円

（写真説明）上段①銀座通り、②富田発電所、③真名川鉄橋、④市道下荒井遊生線、七坂地籍の新、旧道、⑤上庄小学校、⑥水路と農道（川島地籍）、下段右⑦保育園内外、⑧市営住宅（中津川地籍）、⑨部落電話（不動堂）、⑩消防車

（一）一から今年の三月までに使ったお金は九億九千万円です。このお金のうち学校の建築や道路、橋などを建てるために使ったお金一億一千万円、国民健康保険や診療所に使ったお金一億二千万円になっています。学校は下庄小学校、有終中学校、特別教室、有終南小学校、普通教室、小山小学校、嵐小学校、六島分校、蔵生小学校などのほか、乾小中学校、外六校の給食施設を完備しています。農道一万九千六百米、水路一万五千五百米、林道一万一千三百米、植林七百三十四町歩、道路の改良七千八百六十米、橋のかけかえ十九カ所、水路四百八十六米、簡易水道十二カ所、利用戸数六百四十九戸、部落電話七カ所、慰問所四百六十六戸、市営住宅四十



※です。これがほぼ四つあるのです。

花子 その四つというのは？

太郎 第一に学校、第二に中小企業の発展を、第三には農林業の振興、それに道路の四つです。

花子 まあスバラシイ、立派な講堂ネ。

太郎 これが市ご自慢の大講堂ですよ。この春完成した上庄小学校の講堂です。花子 アラ、田圃の真中にこんな大きな道や川ができたのネ。

太郎 これはネ。肥料や収獲物の運搬を機械化して作業能率をあげるためです。以前はこちあたりは、人の背中や馬で運搬したものでした。

× たがネ。この川はママ田をカタ田にしたり、水の欲しい時に十分水があたれるようにするのだから。

太郎 第一に学校、第二に中小企業の発展を、第三には農林業の振興、それに道路の四つです。

花子 まあスバラシイ、立派な講堂ネ。

太郎 これが市ご自慢の大講堂ですよ。この春完成した上庄小学校の講堂です。花子 アラ、田圃の真中にこんな大きな道や川ができたのネ。

太郎 これはネ。肥料や収獲物の運搬を機械化して作業能率をあげるためです。以前はこちあたりは、人の背中や馬で運搬したものでした。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。

花子 立派な建物、これはなんでしょう。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。

花子 立派な建物、これはなんでしょう。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。

花子 立派な建物、これはなんでしょう。

太郎 これは大野保育園と言つて三十年の七月に完成したものでしょう。



# 一、七九〇万円 25議案を可決 第20回市会

### 計算追加

第二十回定例市会  
会は六月二十一日  
午後一時から下庄  
出張所において開  
かれ、次の二十五議案について  
慎重審議ののち全議案を原案ど  
おり可決し、同七時三十分散会  
しました。

森嶋議長は開会を宣言し斎藤市長があいさつののち一たん休憩この間、委員長会議があつて一時十分再開、川崎総務委員長から議事日程の報告があり、これを決めて議事にはいりました。池田助役から上提議案の説明があり、終つて活発に一般質問が繰りひろげられたが、午後六時これを打ち切り請願、陳情とともに各委員会に付託、本会議は一たん休憩し各委員会が開かれました。同七時七分再開、各委員長から報告があつて二十五議案を原案どおり可決しました。

## 解説

（注）紙面の都合で主な議案のみについて説明いたします。

△専決第四十二号  
昭和三十三年度特別  
会計大野市発電所建  
設事業土地買収補償費歳入歳出  
予算書  
発電所建設用地買収のため、  
七千三百三十八万一千八百百  
の特別会計予算が組まれました。  
このうち五千三百三十八  
万八百円が会社負担で、残りの  
二千万円は市が会社から無

利子で借り受けたものです。この金の返済は今後発電施設によつて増収となる固定資産税によつて充てられることになつていきます。

△議案第四十三号 自主財政再  
建計画策定について  
法の定めによつて赤字の解消  
計画をたてて議会の承認を得  
なければならぬので、市では  
人件費や消費的経費の節約  
によつて、昭和三十五年まで  
には黒字財政にする計画を  
たて議会の承認を得たのであ

## 建設的な意見がぞく出 『市政を聴く夕』

六月十八日午後八時から大野市民館で市政を聴く夕が開かれました。主催者側の大野市民館、大野地区区長会、大野地区婦人会、市役所からは市長、総務課長、建設課長、保健課長、民生課長、消防署長、議会側では森嶋議長、川崎総務委員長、土田砂子、四方、高田、近藤、加藤の各市会議員らがそれぞれ出席しそのほか一般の聴衆者の方々約百名余りで活発に質問や応答が繰りひろげられて午後十一時閉会しました。あらましは次のとおりです。（質問、回答）

○旧大野町国民健康保険の再開  
については第一回困保の中止と

ります。この計画の内容は昭和二十九年度、合併当時の赤字を昭和三十年で三千四百二十一万五千円、昭和三十一年で二千七百三十九万五千円に、昭和三十二年で二千五百四十四万五千円、昭和三十三年で一千三百六十九万五千円、昭和三十四年度で六百八十四万五千円、昭和三十五年で赤字解消、昭和三十六年度では百万円の黒字財政となります。

△議案第四十四号 大野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意について  
任期満了となつた玉村正弥氏の後任に上提、森谷久寿氏を決めました。

△議案第四十五号 大野市公平委員会委員選任について  
委員広治兵衛氏任期満了のため後任に清水、井部一敏氏を決めました。

△議案第四十六号 昭和三十三年度一般会計歳入歳出追加更正予算  
この追加予算の総額は一千七百九十九万四千四百円、当初予算を合すると二億五千九百八十七万二千二百円となりました。これは当初予算編成当時に未確定であつた補助事業が主になつていきます。

△議案第五十一号 大野市農業委員会の選挙による委員の定数条例の制定について  
選挙委員の定数は三十人となり選挙区ごとの委員の定数は第一選挙区（旧大野町、旧下庄町、旧乾側村の区域）九人、第二選挙区（旧小山村、旧上庄村の区域）十人、第三選挙



なつた当時の未徴収額、徴収済額、その他経理を明かにしたものを書面で関係市民に知らせたい。

△再開については医師会の協力を得ているので心配はない。工場の騒音のため深夜の安眠ができないから、騒音防止条例を作つて取締つてほしい。

△商工課と話しあつて研究する。

○糞尿の汲取料が高いが市営で行う考えはないか。

△現在、三社ほど許可の申請があるので今後各社が話しあえば安くなると思う。現在の汲取料も他市に比べると高いものではない。

○川ゴミの除去を市に申込んで

育委員会に指導主事設置負担金、市営住宅二十戸新築、林道災害復旧工事などです。

△議案第四十七号 大野市火災予防条例の一部改正について  
火災警報発令中、公衆浴場など営業上やむをえず火気を取扱う場合には消防署に届出をして指示を受けることになりました。（以下欠条は略）

△議案第五十九号 大野市国民健康保険運営協議会委員の委嘱について  
被保険者を代表する委員五

区（旧富田村、旧阪谷村、旧五箇村の区域）十一人、これは今後行われる選挙委員の一般選挙から適用されます。

△議案第六十号 市有財産の処分について  
1 被保険者を代表する委員五  
名  
西川長農助、玉村忠雄、永田守、飯田房吉、林達也  
2 医師または歯科医師を代表する委員五名  
白井泰藏、岩治勇一、白崎進  
松田彦治、尾山弘  
3 公益を代表する委員五名  
砂子貞吉、松田操、石田政治、南正雄、稲津忠右衛門の各氏に決まりました。

△議案第六十号 市有財産の処分について  
旧下庄小学校、および旧上庄小学校講堂の払下げについて承認。

△議案第六十二号 大野市農業委員会委員の推せんについて  
大野地区松山賢一、上庄地区中川甫、阪谷地区田原彦兵衛、飯岡彦兵衛、五箇地区広瀬重孝氏に決まりました。

### 公 告

右建物を区分毎に公売するから買受を希望するものは現地、現物ならびに入札心得書を熟慮の上入札せられたい  
右公告する

昭和三十三年七月五日 大野市長 斎藤重雄

一、公売の方法 入札 一、入札並に開票場所 市役所市長室 一、入札の日時 七月十七日午後一時

一、契約保証金 百分の十 一、加入保証金 百分の五

一、物件の表示 大野市中野四一八番地  
一、建物の種類 下庄小学校旧校舍  
一、建物の区分 一、第一号木造二階建瓦葺延一四〇坪  
二、第二号同右一一二〇坪  
三、第三号同右一一八〇坪 計四四〇坪